

# ハイブリッドレコーダー HRXシリーズ簡易取扱説明書

Ver 1.00

2020/10/01

本書は、ハイブリッドレコーダーHRXシリーズの設定・操作に関して、基本的な内容を商品取り扱い説明書から抜粋、補足して記すものです。そのため、不足部分の詳細は、商品取り扱い説明書を参照ください。

また、本シリーズは従来のアナログHDカメラに加えて、全方位カメラ・超高感度カメラなど、アナログカメラには無い機能・性能を有する当社のネットワークカメラを接続することが可能です。※

1. ログイン・ログアウト	P2
2. チャンネル設定	P4
3. カメラ画質設定	P8
4. 全方位カメラの接続	P11
5. 録画設定	P13
6. 検索	P14
7. 再生・バックアップ	P17
8. ライブ画面操作	P22

※：本書では、8CHレコーダーを基準として説明しています。

※：ネットワークカメラの接続・利用に際しては、本機の制限事項など、十分に確認の上ご利用ください。

ネットワークカメラは、アナログカメラに無い機能・性能の補完を目的としたご利用を推奨いたします。

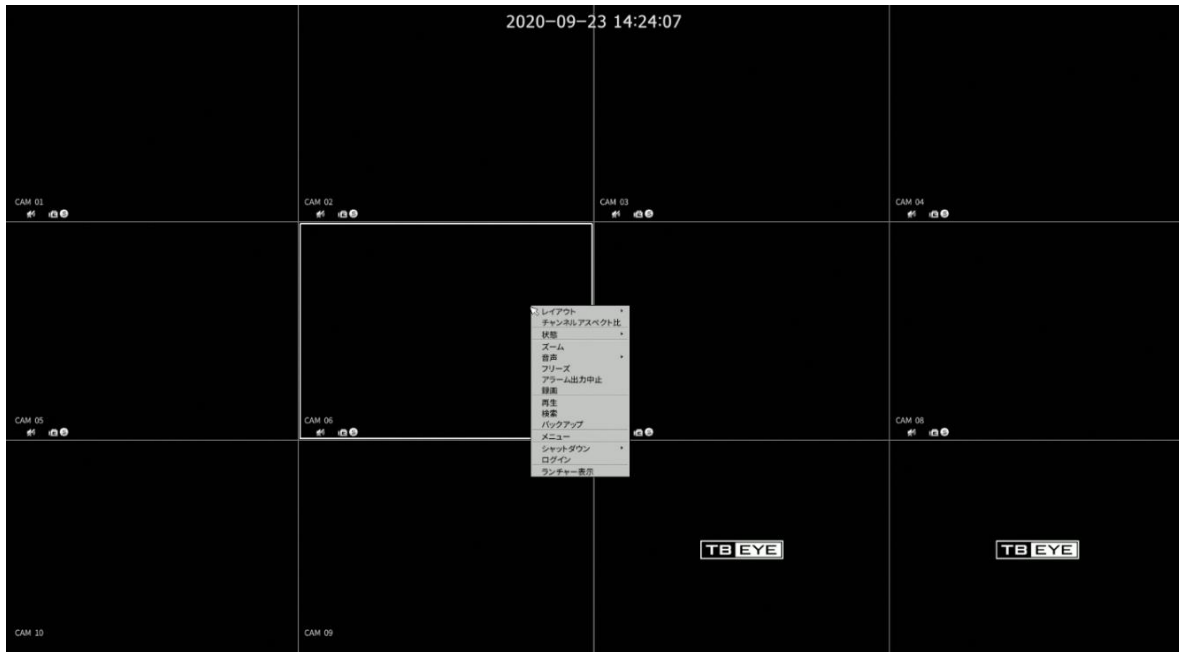
## 1. ログイン・ログアウト

DVRの制限されたメニュー（機能設定・操作など）を利用するにはログイン状態である必要があります。本書では、ログイン・ログアウトの操作について説明します。

1) ライブモード画面でマウス右ボタンをクリックします。

下図のようにメニュー画面がポップアップ表示されます。

・リモートコントローラーの[MENU]ボタンを押しても、メニュー画面が表示されます。

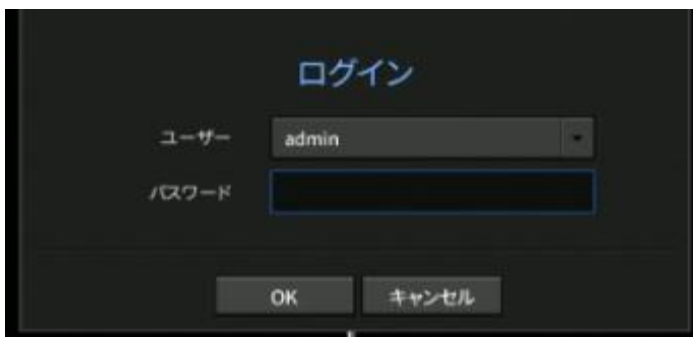


2) ログインを選択します。

3) ログインを選択すると、ログイン画面がポップアップ表示されます。

レコーダーに登録されたユーザーを選択して、パスワードを入力してください。

※出荷時のパスワードは、本製品に同梱されている「パスワードに関する重要なご案内」をご確認ください。



※ 1 : 出荷時の管理者IDは[admin]です。

※ 2 : レコーダーに記録保存された個人を特定し得る情報の窃盗や漏洩などの被害を防ぐため、3か月に1回程度パスワードを変更してください。

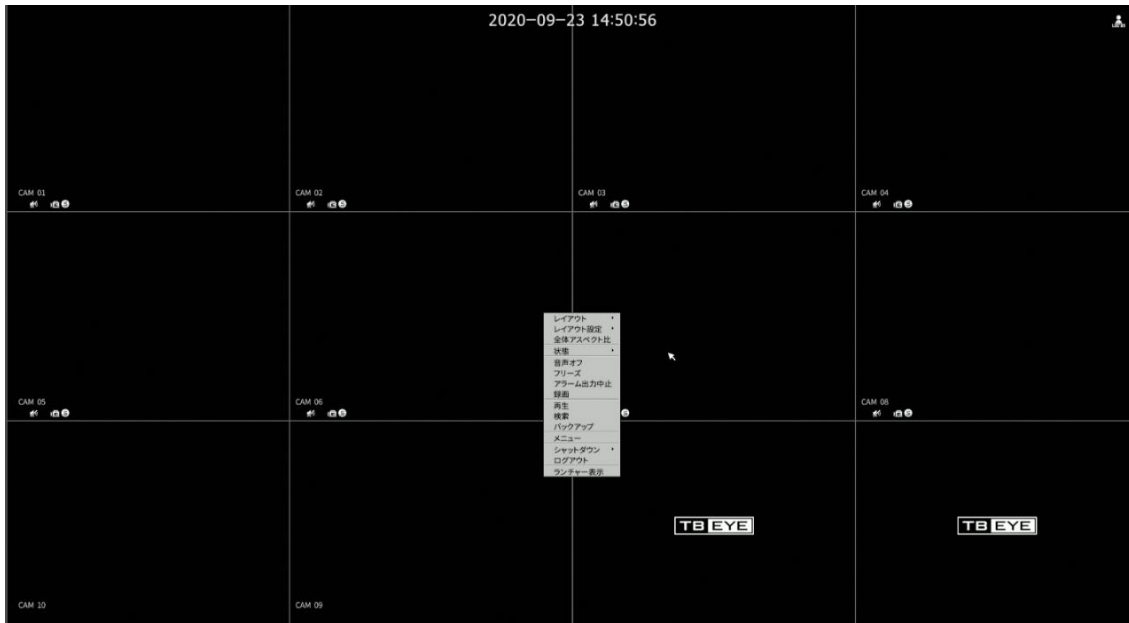
お客様の責任において、パスワードは十分な管理をお願い致します。

管理不備によるセキュリティ及びその他の問題について、当社は一切の責任を負いかねます。

ログインすることで、ログインしたユーザー権限で設定された操作（メニュー設定や、シャットダウンなど）が可能になります。

#### 4) ログアウト

ログインした状態で、ライブモード画面でマウス右ボタンをクリックします。  
下図のようにメニュー画面がポップアップ表示されます。



4) ログアウトを選択し、ポップアップ画面で[OK]ボタンを押すと、レコーダーからログアウトします。  
ログアウトした状態では、ライブ画面で表示できるメニューの操作が制限されます。

#### 5) シャットダウン

シャットダウン権限を持ったユーザーが、シャットダウンを行うことができます。  
本機の電源をOFF(※)にする場合、動作中のHDDや記録済みの映像データにダメージを与えないように、必ずメニューからシャットダウンを行ってください。  
シャットダウン後は、電源コードを抜いてください。

※ 電源OFFは、「設備点検による計画停電」なども含みます。

シャットダウン後に停電が発生し、その後停電が復旧した場合、電源コードが接続されているとレコーダーは自動的に起動します。

この起動中に再度停電などが発生すると異常電源断となり、次回の再起動時に記録されたデータをチェックするために、起動に時間がかかる場合があります。

「設備点検」などで複数回の電源の「入／切」が発生する可能性がある場合は、必ず電源コードを抜いてください。

電源状態が安定してから、電源コードを接続するようにお願いします。

## 2. チャンネル設定

- 1) チャンネル設定のメニューで、接続されているアナログカメラのタイプや、ライブ画面での表示方法、音声出力の使用有無などの、情報表示と設定を行います。  
またネットワークカメラの登録も、本メニューで行います。  
[メインメニュー]⇒[カメラ]⇒[チャンネル設定]



- ①カメラ名：ペンマークを押して、カメラタイトルを編集することができます。
- ②モデル：接続されているカメラの情報が表示されます。  
アナログカメラ：Analog CAM  
ネットワークカメラ：製品品番やカメラのタイプ
- ③プロトコル：接続されているカメラの方式（プロトコル）が自動的に表示されます。  
アナログカメラ：AHD / TVI / CVI / CVBS  
ネットワークカメラ：Wisenet / ONVIF / RTSP
- ④IP/ポート：カメラが接続されているBNC端子番号（ポート）、またはIPアドレスが表示されます。
- ⑤映像：ライブ画面でのカメラ映像の表示条件などを設定します。  
オフ：選択したカメラの映像他、状態情報も表示されません。また、録画もされません。  
オン：選択したカメラの映像や状態情報を表示します。録画もされます。  
Covert1：プライバシー保護のため、選択したカメラの映像は表示されず、状態情報は表示されます。また、録画もされます。  
Covert2：選択したカメラの映像、状態情報とも表示されません。  
しかし、録画はされます。  
※録画は、録画スケジュールなど、録画する設定になっている場合にされます。  
<Covert1>又は<Covert2>モードに設定した場合、チャンネルの音声は聞こえません。  
ただし、音声は<オン>に設定されている場合、ライブでの音声は出力されませんが、録音はされます。
- ⑥音声：音声の使用条件を設定します。  
オン：ライブ画面上でチャンネルの音声のON/OFFを切り替えることができます。  
オフ：ライブ画面上でチャンネルの音声はOFFになり、録音もされません。
- ⑦接続：接続を押すと、アナログカメラの接続状態確認と設定が出来ます。



- ⑧通信：通信方式 Coax(同軸) / シリアル を選択・設定します。
- ⑨プロトコル：シリアル通信の場合、制御対象のカメラに適合するプロトコルを選択します。  
NONE / Samsung-T / Pelco-D / Pelco-P
- ⑩ID：シリアル通信の場合、制御対象のカメラのIDを設定します。

## 2) [アナログ]タブ



[アナログ]タブを押すと、前述の（⑧⑨⑩）で説明したアナログ通信関連設定画面が表示されます。

## 3) [自動検索]タブ

[自動検索]タブを押すと、本レコーダーに接続可能なカメラ（アナログ/ネットワークカメラ）が検索され、表示されます。

※注意：後述の[削除]でアナログカメラのポート（BNCチャンネル）を削除した場合は、アナログカメラも表示されます。



①登録可能なカメラのリストです。表示されない場合、右上の[更新]ボタンを押してください。

②カメラ登録が可能なCHリストです。

登録を行うと、上から順に登録されます。

③検索されたカメラの接続確認状態を表示します。

- ・不明：アナログ入力CH（BNC）に位置するポートが削除された状態である場合、自動検索の結果に不明と表示されます。カメラが接続されていなくても、登録が可能です。
- ・成功：ネットワークカメラの接続テストが成功しています。
- ・その他：接続テストが失敗しています。

参考：エラーコード

失敗：接続失敗

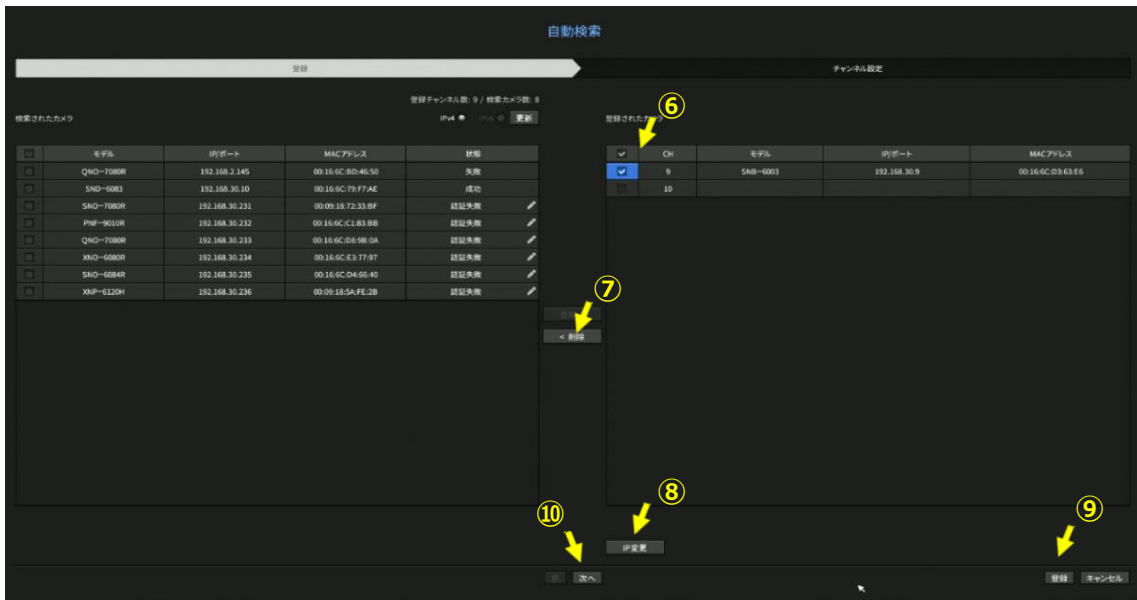
認証失敗：ID/パスワード認証失敗

ユーザー数の超過：カメラ許容ユーザー数超過

ビデオエラー：サポートしない映像フォーマット

アカウントロック：認証5回失敗

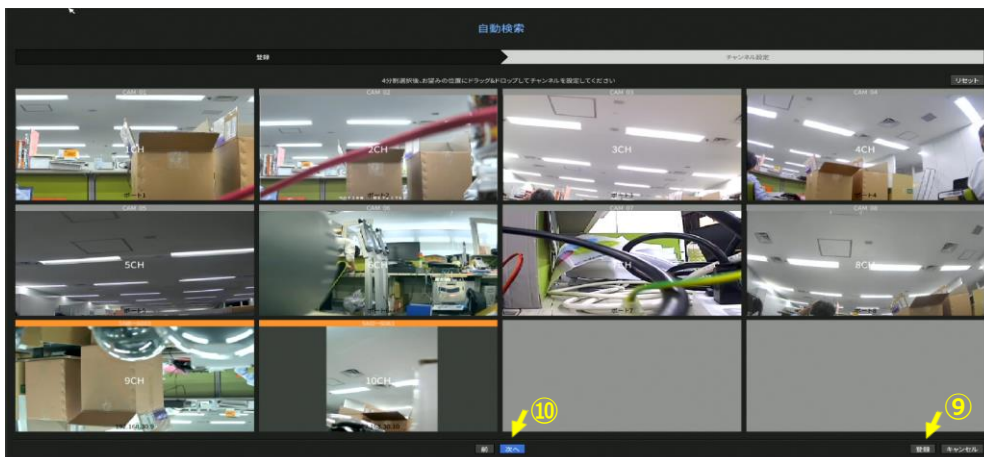
ネットワークカメラは、登録済みであっても[登録済み]と表示され、Multi登録が可能です。  
 ④カメラを選択し、⑤登録ボタンを押すと、選択されたカメラが右のリストに追加されます。



- ⑥リストに登録されたカメラを選択します。
- ⑦一旦、リストに登録したカメラを削除できます。
- ⑧選択したカメラのIPアドレスを変更できます。



- ⑨この[登録]ボタンを押すと、レコーダーへの登録が完了します。
- ⑩登録されたカメラが存在する状態で[次へ]ボタンが有効になります。  
 このボタンを押すと、下図のように接続されたカメラが接続ポート順に表示されます。  
 新規登録分は、オレンジのバーで確認できます。



この状態で、新規登録カメラ（画面）を選択し、ドラッグ／ドロップでCHを入れ替えることができます。  
また、この画面の[⑩次へ]、または[⑨登録]ボタンを押すことで登録が完了します。

#### 4) [手動]タブ

[手動]タブを押すと、本レコーダーに接続するネットワークカメラを手動で設定できます。



#### 5) [削除]タブ

[削除]タブを押すと、本レコーダーに接続されたカメラ（アナログ/ネットワークカメラ）を削除できます。  
カメラの交換などの場合に使用してください。



※注意：アナログカメラを削除してしまった場合、カメラの接続＜切り/入り、BNCの挿抜＞で再度、自動登録されます。  
しかし、削除前に設定されていたプロファイルは初期値に戻りますので、ご注意ください。



### 3. カメラ画質設定

#### ■ アナログカメラの設定

##### 1) 録画条件（フレームレート、解像度、画質の設定）

HRXシリーズレコーダーでは、カメラを接続していない（一度も接続したことが無い）状態では、録画条件を設定することが出来ません。

以下の説明は、カメラを接続した状態で、各条件を設定する方法になります。

[メインメニュー]⇒[①カメラ]⇒[②プロフィール]⇒[③録画]⇒[④編集(設定したいCH)]⇒<歯車ボタン>



##### 2) プロファイル詳細

録画タブを選択した状態で上記の歯車ボタンを押すと、下図の「プロフィール詳細設定」画面が開きます。



#### ●録画（Main Stream）：録画用条件になります。

録画条件として設定変更可能なパラメーターは

①解像度：2540x1440、1920x1080、1280x720、960x540、640x360（HDカメラの場合）

②フレームレート：1～15（4MP）、1～30（2MP以下）

③タイプ：CBR/VBR

CBR（固定ビットレート）：映像データのビットレート（サイズ）が一定になるように動作します。

ビットレートが一定のため、目標記録日数の誤差が少なくなります。CBRを推奨します。

（ただし、完全に一定では無く、動きのある被写体の場合など、設定値を超えることがあります。）

VBR（可変ビットレート）：映像データのビットレート（サイズ）が被写体によって変わります。

設定値は目安で、動きのあるシーンではビットレートを高く、動きの無いシーンではビットレートが低くなるように動作するので、動きのあるシーンでも、比較的きれいな映像を記録することができます。

ビットレートが被写体によって変わるため、記録日数の算出が難しくなり、誤差が大きくなります。

④ビットレート：設定値で記録される画質が決まります。

必要な記録日数と、画質から設定値を決めます。

参考：4MPカメラが接続された場合の初期値は、「5fps/CBR/2700kbps」になります。

- リモート（Sub Stream）：ネットワーク経由のライブビュー、デュアル録画使用時の設定です。
  - ・解像度：960x540を上限として設定してください。  
プルダウンメニューには、1280x720以上の解像度が表示されますが、選択すると「警告：システム仕様が超過され、プロファイルを設定できません。」と表示されます。
  - ・フレームレート：1～15（4 MP）、1～30（2 MP以下）
  - ・タイプ：CBR/VBR

■ ネットワークカメラの設定

1) 録画条件（フレームレート、解像度、画質の設定）

[メインメニュー]⇒[カメラ]⇒[プロファイル]⇒[編集(設定したいCH)]⇒<歯車ボタン>

2) ネットワークカメラの場合、録画条件（プロファイル）は、カメラ内に保存された設定データを利用します。

以下の図は参考例です。

レコーダーから各値（解像度/フレームレート/ビットレート）を変更できますが、個々の内容については、使用するネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

プロファイル詳細設定

CH 09 追加 削除 他のチャンネルに適用

	プロファイル	コーデック	解像度	フレームレート	ビットレートコントロール			使用中
					タイプ	ビットレート	ビットレート範囲	
<input type="checkbox"/>	MJPEG	MJPEG	1920x1080	5	—	6144	64 - 6144	—
<input type="checkbox"/>	H.264	H.264	1920x1080	20	VBR	3072	64 - 30720	録画
<input type="checkbox"/>	live	H.264	800x450	20	VBR	2000	64 - 30720	—
<input type="checkbox"/>	LiveINVR	H.264	800x450	10	VBR	1024	64 - 30720	リモート

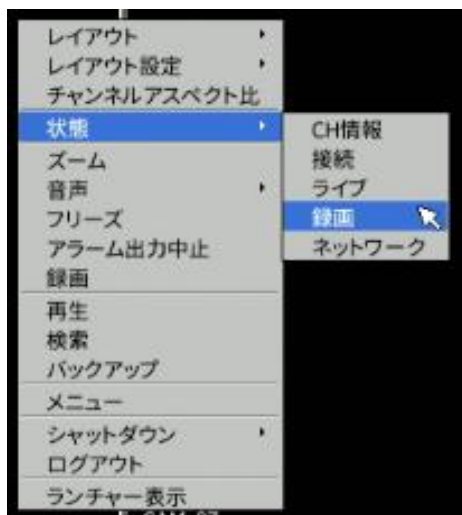
※全方位カメラの設定例は、「4. 全方位カメラの接続」を参照してください。

■ 録画日数の確認

解像度、フレームレート、ビットレートの設定が終わった後、録画日数の確認ができます。  
必要な日数に対して、余裕を持った設定にしてください。

1) 録画時間の確認

ライブ画面 ⇒ [マウス右クリック] ⇒ [状態] ⇒ [録画]



### 状態

ライブ **録画** ネットワーク

合計ビットレート(録画/最大): 2.6/40.0Mbps 現在 最大 ↻

CH	プロファイル	録画タイプ		フレームレート (fps)		ビットレート(bps)			
				入力	録画	制限	入力	録画	受信/制限
1	Main Stream	ノーマル	フル	5.0	5.0	4.0M	2.6M	2.6M	65.0%
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-

< 1 / 2 >

● 受信データ超過      ● プロファイルエラー      ● HDD容量超過

HDD容量(フリー/トータル): - /1993 GB

録画(使用可能容量/総容量): - /66 日 20 時間

上書き: オン  
録画設定

戻る

#### 4. 全方位カメラの接続

全方位カメラの場合、歪み補正機能（Dewarping）を使用することができます。

※以下に示す図は参考例です。プロファイルの詳細は、実際に使用するカメラのプロファイルで  
ご確認ください。

[メインメニュー]⇒[カメラ]⇒[プロファイル]⇒[編集(設定したいCH)]⇒<歯車ボタン>

	プロファイル	コーデック	解像度	フレームレート	ビットレートコントロール			使用中
					タイプ	ビットレート	ビットレート範囲	
<input type="checkbox"/>	MJPEG	MJPEG	4000x3000	1	-	6144	5120 ~ 15360	-
<input type="checkbox"/>	FisheyeView	H.265	2944x2208	5	CBR	4500	2048 ~ 20480	-
<input type="checkbox"/>	Dewarp1 (DPTZ)	H.264	704x576	20	CBR	1024	512 ~ 20480	録画
<input type="checkbox"/>	Dewarp2	H.264	2560x1280	20	CBR	5120	2048 ~ 20480	-
<input type="checkbox"/>	Live4NVR (DPTZ)	H.264	640x480	20	CBR	512	512 ~ 6144	リモート
<input type="checkbox"/>	PLUGINFREE	H.264	800x600	20	CBR	810	512 ~ 20480	-
<input type="checkbox"/>	Fisheye264	H.264	2560x1920	20	CBR	5120	2048 ~ 20480	-
<input type="checkbox"/>	Live265	H.265	2560x1920	20	CBR	5120	2048 ~ 20480	-
<input type="checkbox"/>	MOBILE	MJPEG	640x480	3	-	2048	512 ~ 15360	-

歪み補正    ワイズストリーム    ダイナミックGOV&FPS

適用    閉じる

上図の例では、録画用のプロファイルには、①Dewarp1(DPTZ)が設定されています。

リモート用のプロファイルには、②Live4NVR(DPTZ)が設定されています。

③の歪み補正ボタンを押します。

下図の歪み補正設定画面が開きます。

プロファイル	ビデオ出力	ビュー	解像度
Dewarp1	歪み補正ビュー	クワドビュー	704x576
Dewarp2	歪み補正ビュー	ダブルパノラマ	2560x1280
Live4NVR	ソースビュー	オーバービュー	1600x1200
PLUGINFREE	ソースビュー	オーバービュー	800x600
Fisheye264	ソースビュー	オーバービュー	2560x1920


⚠ 録付けモードを変更すると、カメラが再起動する場合があります。

録付けモード    シーリングタイプ

OK    キャンセル

④ライブ用のプロファイルLive4NVRは⑤ソースビュー、⑥オーバービューに設定されていますので、  
下図のように全方位の映像がライブ画面で表示されます。（解像度：1620x1200）

ただし、HRXのライブ画面で表示できるカメラの解像度は全方位カメラで出力できる解像度と異なる場合があります。

その場合  アイコンが表示され映像が出ません。 プロファイルで解像度を変更してください。  
ライブ単画面と分割画面でも、表示可能な解像度は異なります。



⑤歪み補正ビュー、⑥クワドビュー に設定した場合、下図のように補正された4分割映像が表示されます。

また、上の例では録画用のプロファイル⑦でも歪み補正ビュー／クワドビューが設定されていますので、補正された4分割画面が録画されます。



## 5. 録画設定

### 1) 録画スケジュール

[メインメニュー]⇒[録画]⇒[録画スケジュール]

この画面で、録画スケジュールを設定できます。

日曜日～土曜日（1週間）＋祝日、24時間/日

・録画しない（灰） ・連続録画（緑） ・イベント録画（橙） ・連続&イベント（白）



①カメラを選択し、録画スケジュールを作成します。

②録画のモードを選択し、

③スケジュールテーブルに反映します。この時、時刻（0～23）の▼を押すと、日～祝日まで一括で設定できます。また、曜日の右▶を押すと、その曜日の0～23時まで一括で設定できます。

④同じスケジュールを、他のチャンネルにも反映できます。

最後に、画面下の適用を押します。

### 2) 録画設定

[メインメニュー]⇒[録画]⇒[録画設定]

この画面で、各録画モードの録画フレーム、イベント（プレ/ポスト）録画、音声の設定ができます。



①通常録画で記録するフレームを設定します。 フル/Iフレーム/オフ

②イベント録画で記録するフレームを設定します。 フル/Iフレーム/オフ

③イベント録画の、プレ/ポスト時間を設定します。

前（プレ）：オフ/5秒/10秒/15秒（注：30秒は設定できません。）

後（ポスト）：オフ/5秒/10秒/20秒/30秒/1分/3分/5分/10分/20分/1時間  
2時間/3時間/4時間/5時間/6時間

④音声の録音（オフ/オン）を設定します。

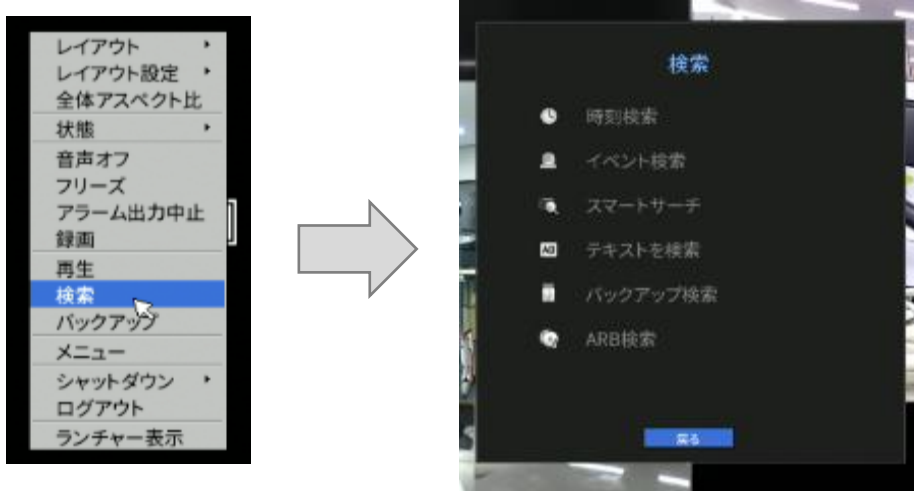
⑤選択されたCHの変更された内容を、他のチャンネルに反映することができます。

⑥設定された（カメラのプロファイル）録画のビットレートの合計が、レコーダーで許容された範囲（最大値以下）が確認できます。

## 6. 検索

本章では、比較的よく使用されると思われる 時刻検索／イベント検索／バックアップ検索について説明します。

ライブ画面でマウス右ボタンクリックで[検索]を選択すると、検索メニュー画面が開きます。  
又は、リモートコントローラーの[SEARCH]ボタンを押します。



### 1) 時刻検索

録画されたデータを、時間を指定して検索することができます。

(検索された時刻、表示される時刻がおかしいと思われる場合は、レコーダーの設定 [システム] ⇒[日付/時間/言語]で<時間帯>と<DST>の設定をご確認ください。)

①検索する日付を設定または選択 (カレンダー) します。

日付は直接入力か、上▲/下▼ボタンを押して設定することができます。

該当日付の録画データが表示されます。

データタイプによって表示バーが異なりますので、画面の左下から色のデータタイプを確認してください。

②録画データが存在する、最初と最後に移動することができます。

最初に移動：最も古い日付に移動します。

最後に移動：最新の日付に移動します。

③スライダーを動かすことで、表示範囲内の時刻を指定できます。



- ④時刻指定のスライダーを中心に、表示幅が  
拡大：24時間⇒12時間⇒6時間⇒3時間⇒1時間  
と変化します。  
縮小は拡大の逆の順序になります。
- ⑤時刻を直接指定できます。
- ⑥チャンネルを選択し、時刻を表示する赤縦線（スライダー）をドラッグするとその時刻の静止  
画像が表示されます。  
※選択したチャンネルに録画データがない場合は、黒で表示されます。
- ⑦ページの移動（テーブルの切り替え）が出来ます。
- ⑧選択したカメラの映像を再生します。
- ⑨また、Layoutが設定されている場合は、Layoutを切替えることで、検索結果テーブルに表示される  
カメラ（チャンネル）群を切替えることができます。

## 2) イベント検索

チャンネル別に発生したイベントを検索し、再生することができます。

- ①選択されたカメラの ②該当する日付のイベントが表示されます。
- ③イベントタイプを選択し、確認したいイベントを絞ることができます。
- ④表示されているイベントリストの最初と最後に移動することができます。  
最初に移動：最も古い時刻のイベントに移動します。  
最後に移動：最新のイベントに移動します。
- ⑤リストに表示されたイベントを選択すると、そのイベントの最初の映像が静止画で表示されます。
- ⑥選択されたイベントが再生されます。



※イベントタイプには、従来機種で検索メニューにあった

- ・モーション
- ・タンパリング

を含み、その他、多数のタイプが設定できます。

ただし、ネットワークカメラで発生するイベントもイベントタイプのリストにあるため、そのようなイベントは、アナログカメラの利用で検出することはできません。



### 3) バックアップ検索

レコーダーに接続されたバックアップ・デバイス内のバックアップデータを検索します。

Recorderタイプでバックアップされたデータのみが検索対象です。

- ①バックアップデータが保存されているメディアを選択します。
- ②メディアにバックアップデータが存在する場合、フォルダ名／ファイル名のリストが表示されます。
- ③ファイルを選択します。
- ④バックアップされたデータの内容（チャンネル／録画期間）が表示されます。
- ⑤バックアップされた期間内で再生を開始する時刻を指定します。
- ⑥再生します。



## 7. 再生・バックアップ

### 1) 再生

HDDに保存されたデータを再生し、データの必要な部分をバックアップすることができます。

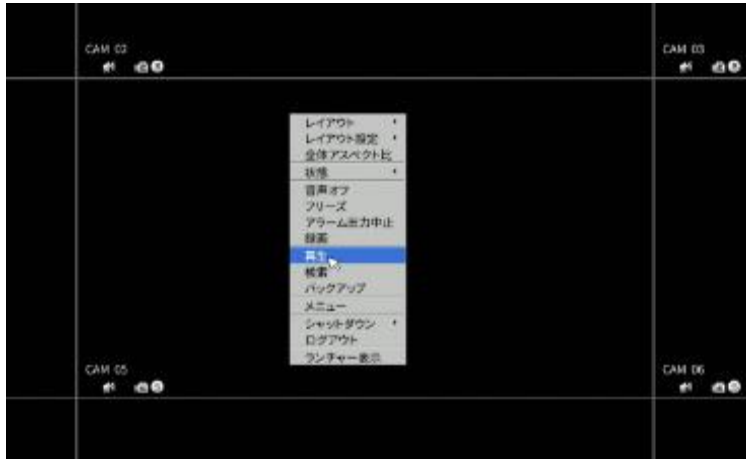
再生は以下のいずれかの方法で開始することができます。

- ・ライブモードでマウス右ボタンクリックメニューの<再生>を選択
- ・ランチャーメニューの▶をクリック
- ・リモートコントローラー再生ボタン▶||を押します。

ただし、すでに再生中の検索ファイルがある場合はすぐ再生モードになり、

再生中の検索ファイルがない場合は、録画検索モードになります。

検索画面が開いた場合は、検索を実行し再生を行ってください。



再生ランチャーが開きます。

この場合、再生対象は下記のようになります。

- ・カメラ全CH
- ・再生操作を行った当日、もしくは最新の記録映像



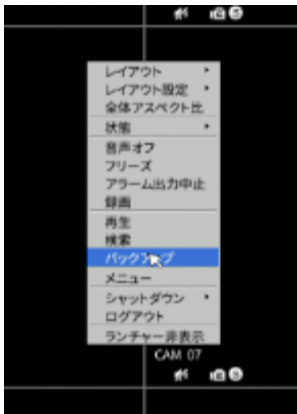
再生情報：画面の上部に再生中のデータの日付と時刻が表示されます。

## 2) バックアップ

バックアップデバイスを確認し、チャンネル別および設定した時間のバックアップを実行できます。

- ・ライブモードでマウス右ボタンクリックメニューの<バックアップ>を選択
- ・リモートコントローラーの[MENU]ボタンを押す

バックアップを選択し、マウス左クリックまたはリモートコントローラーの[ENTER]を押すとバックアップ画面が表示されます。



注：バックアップ用メディアとして使用可能なのは、容量は2TBまでのFAT32でフォーマットされたUSBメモリ、またはUSB外付けHDDです。USB外付けHDDは、当社指定の物をご使用ください。

バックアップ対象データを指定後、該当するデータを接続したデバイスにバックアップすることができます。



①チャンネル：データをバックアップするカメラを選択します。複数のカメラをカメラを選択できます。

②カメラの表示方法を変更できます。分割画面イメージ ←→ カメラリスト

③バックアップ範囲：バックアップを<開始>する日付時刻を指定します。

④バックアップ範囲：バックアップを<終了>する日付時刻を指定します。

⑤時間重複データ：同じ時間帯に重複するデータがある場合リスト表示されます。

時刻または時間帯の変更などの理由で、選択した時間の1つのチャンネルに複数のデータがあると表示されます。

⑥デバイス：データをバックアップするデバイスを選択します。

⑦更新：⑥のバックアップデバイスが表示されていない場合、本ボタンを押して情報を更新してください。

⑧タイプ：バックアップデータの形式を指定します。

SEC：独自フォーマットで、ビューワーソフトと一緒に保存されます。

再生のために、別のビューワーソフトを必要としません。

Recorder：レコーダー本体でのみ再生できる形式です。

⑨パスワード：バックアップデータにパスワードを付与します。

再生するにはパスワードが必要になり、バックアップデータを不要な閲覧から保護することができます。

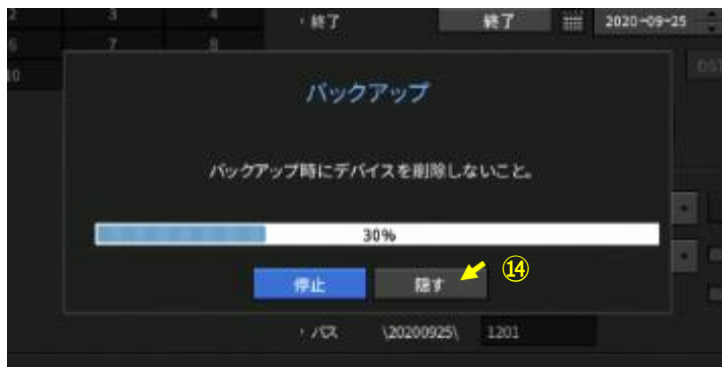
⑩パス：バックアップデバイス上に保存されたデータのパスを示します。

⑪容量のチェック：バックアップデバイスの使用状況をイメージで確認することができます。

⑫バックアップするデータサイズその他、バックアップデバイスの状態を数値で示します。

⑬バックアップを開始します。

⑭バックアップ中に「隠す」ボタンを押すと、ライブ画面に戻ります。

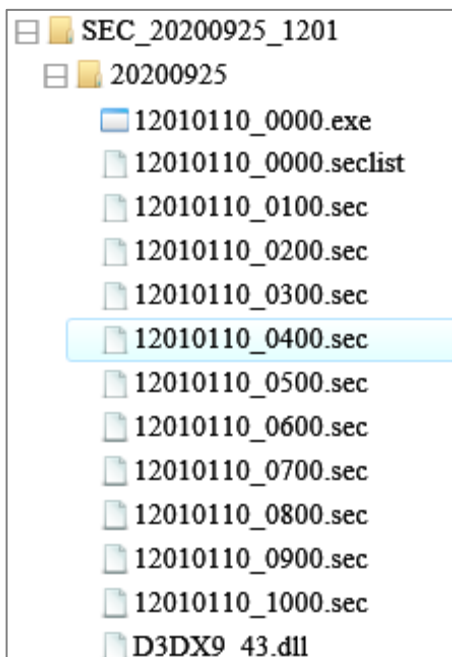


### 3) SECバックアップビューワー

SECタイプでバックアップされているファイルを再生することができます。

※推奨システム仕様は、商品取扱説明書をご参照ください。

バックアップを実行すると、バックアップデバイスに以下のようなフォルダ構成でデータが保存されます。



#### ●参考例

SEC\_20200925\_1201：2020年9月25日12時01分からの記録データを保存したフォルダ

20200925：データ保存フォルダ

12010110\_0000.exe：ビューワー実行ファイル

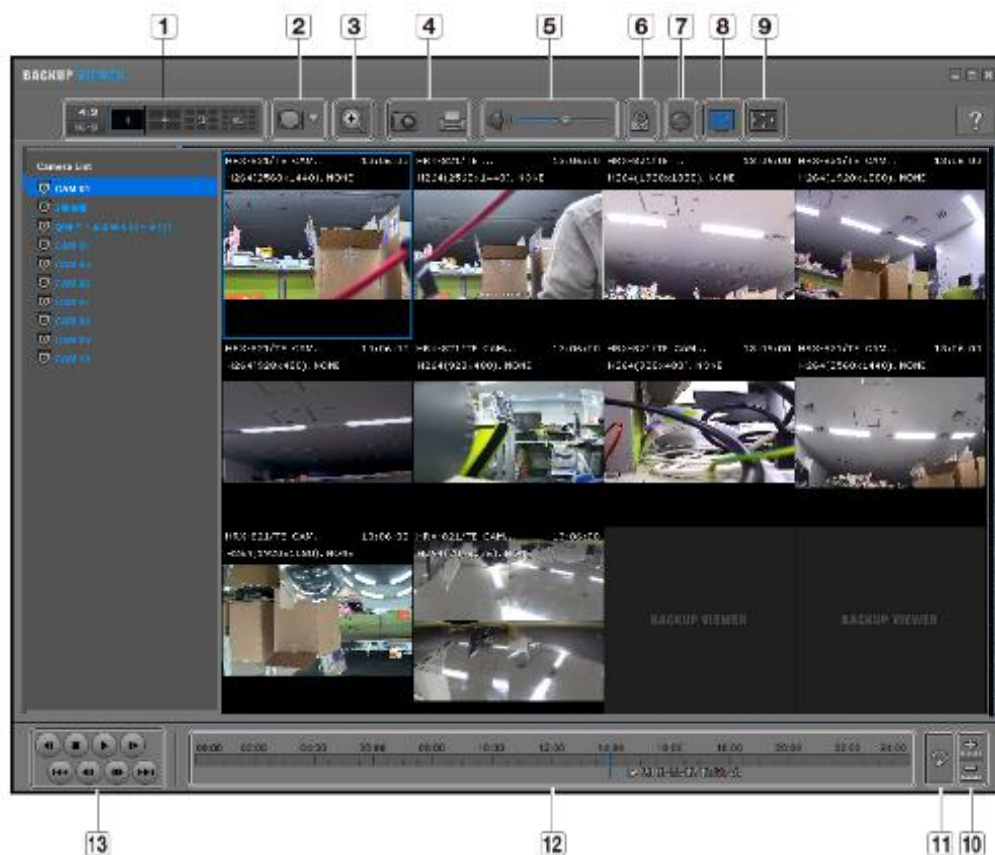
12010110\_0000.seclist：情報ファイル

12010110\_xxxx.sec：記録データファイル














D3DX9\_43.dll：ビューワー用DLL

上図の例では、再生する時「12010110\_0000.exe」を実行します。

・ビューワー画面





項目		説明	
1	分割画面		表示する画面の縦横比を選択します。
			選択した分割画面に変更されます。
2	Fish eye ビューモード		<  > を押すと、Fish-Eye 設置タイプを変更できます。設置場所に応じてビューモードを天井/床/壁から選択できます。
			現在の画面上での Fish eye ビューモードを各分割画面に変更できます。
3	デジタルズーム		現在の100倍の大きさまで画像を拡大します。 画像を拡大するにはズームイン(  ) ボタンを押します。画像を縮小するにはズームアウト(  ) ボタンを押します。ポップアップウィンドウ内のスライダー(  ) を使用してズームイン/ズームアウトすることもできます。 サイズを変更した映像をデフォルトのズーム倍率(100%)に戻すには、(  ) を押します。 200%を超えて画像を拡大すると、デジタルズーム画面に拡大された領域が表示され、表示された領域にマウスクリックして目的の位置に移動することができます。 デジタルズームで表示される画面はバックアップビューア画面に適用されます。 デジタルズームを取り消すと、ビデオサイズはデフォルトの100%に戻ります。
4	画面出力		現在の映像を画像ファイルに保存します。JPEGファイル形式をサポートしています。
			現在の画面を印刷します。画面を印刷するには、適切なプリンタドライバをインストールしておく必要があります。

項目		説明	
5	音声	 / 	切替ボタンでボタンを押すたびに音声出力の有効/無効が切り替わります。
			音量レベルを0から100の間で調整することができます。
6	ウォーターマーク	 / 	データファイルが改ざんされているかを確認することができます。
7	Deinterlace		デインターレース機能を有効にすることができます。
8	OSDの表示		OSDのチェックボックスを選択して、バックアップ再生画面にOSD情報を表示します。 バックアップ日付、曜日、時刻、モデル名、およびチャンネル番号が画面に表示されます。
9	アスペクト比/全画面を維持する		再生画面のアスペクト比を維持します。
			映像を全画面で再生します。
10	タイムラインの拡大/縮小		保存時刻の範囲バー上に表示される時刻範囲が縮小されます。範囲全体の長さが24時間になるまで範囲バーを縮小することができます。
			保存時刻の範囲バー上に表示される時刻範囲が拡大します。範囲全体の長さが1分になるまで範囲バーを拡大することができます。
11	タイムラインの復元		タイムラインを初期設定に復元します。
12	保存時刻範囲の表示		保存された映像ファイルの時刻範囲が表示されます。現在時刻表示の格子線を移動して、再生時刻を選択することができます。
13	再生コントロール		タイムラインの映像再生を調整することができます。

13 : 上段左から


 : 低速逆再生


 : 停止

 : 再生

 : 低速再生

 : 前の録画[10分]

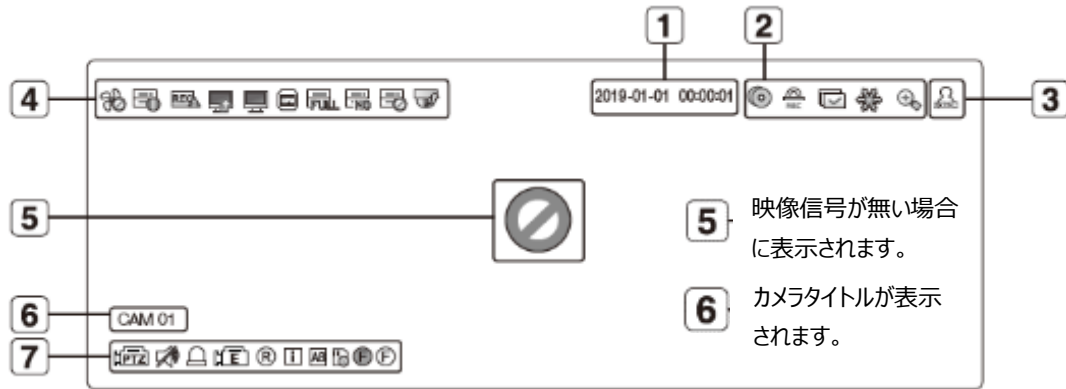
 : コマ戻し

 : コマ送り

 : 次の録画[10分]

## 8. ライブ画面操作

1) 現在の設定状態や機能を確認できます。



- 5 映像信号が無い場合に  
表示されます。
- 6 カメラタイトルが表示  
されます。

名前		説明	
1	現在日付、時刻	現在の日付と時刻が表示されます。	
2	画面 状態モード		実行中のバックアップがあるときに表示されます。
			録画中止アクセス制限が設定されている状況で手動録画するときに表示されます。 録画中止の権限があるユーザーのみ録画を停止することができます。
			シーケンスモード（設定された時間間隔で全チャンネルを切り替える）のときに表示されます。
			画面のフリーズボタンを押すと表示されます。
			拡大機能が動作しているときに表示されます。
3	ログイン情報	ログインすると、“LOG ON”アイコンが表示されます。	
4	システム 状況表示		ファンに問題があるときに表示されます。 ■ ファンを搭載する製品でのみ機能します。
			録画データが保存できない場合に表示されます。
			チャンネル別のデータ量が設定された制限データ量を超える場合に 表示されます。
7	カメラ 状態表示		PTZ機能カメラが接続されているチャンネルで表示されます。
			音声オン/オフ状態が表示されます。音声を無効にしている場合は表示されません。
			センサーが<オン>に設定されている場合、外部入力信号が入力されると、設定したチャンネルに表示されます。
			モーション感知機能を<オン>に設定し、ネットワークカメラのモーション、カメラのイベント発生時に当該チャンネルに表示されます。
			手動イベント/スケジュールの録画ステータスが表示されます。
			デコーディング性能制限によってすべてのフレームをデコーディングできなくフレームのみデコーディングする場合に表示されます。
			POS(テキスト)イベントが発生すると表示されます。
			赤色 - SDカードに異常があるとき、表示されます。 黄色 - SDカードに録画データ一杯になったとき、表示されます。
			デフォーカスイベントが発生すると、点滅します。アイコンをクリックすると、シンプルフォーカスコマンドがカメラに送信されます。 ■ 霧探知イベントが発生する場合も、表示されます。

## 2) ライブ画面の切換

### ■ 単画面

- 分割画面上でチャンネルを選択し、マウス左ボタンをダブルクリックします。
- 分割画面に戻る場合も、マウス左ボタンをダブルクリックします。

### ■ 分割画面

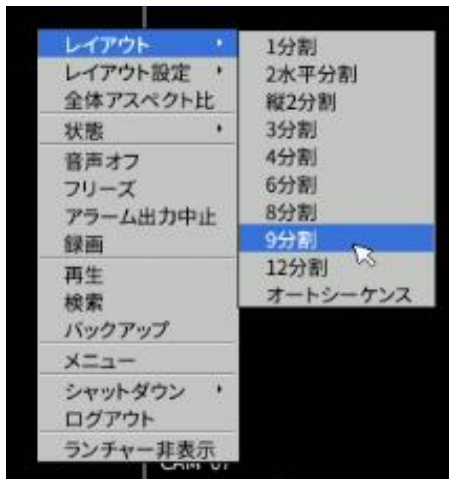
- マウスを右クリックするとメニュー画面が表示されますので、<レイアウト>を選択し、表示される。サブメニューから分割画面モードを選択することができます。

分割画面の種類は、レコーダー（4/8/16CH）によって異なります。

4CH : 1、2H、2V、3V、4、6(1+5)、6(3x2) / シーケンス

8CH : 1、2H、2V、3V、4、6(1+5)、12(4x3)、8(1+7)、9、12 / シーケンス

16CH : 1、2H、2V、3V、4、6(1+5)、8(1+7)、9、13、16、20(5x4) / シーケンス



- リモートコントローラーの[MODE]ボタンを押すことでも、分割画面を切り替えることができます。

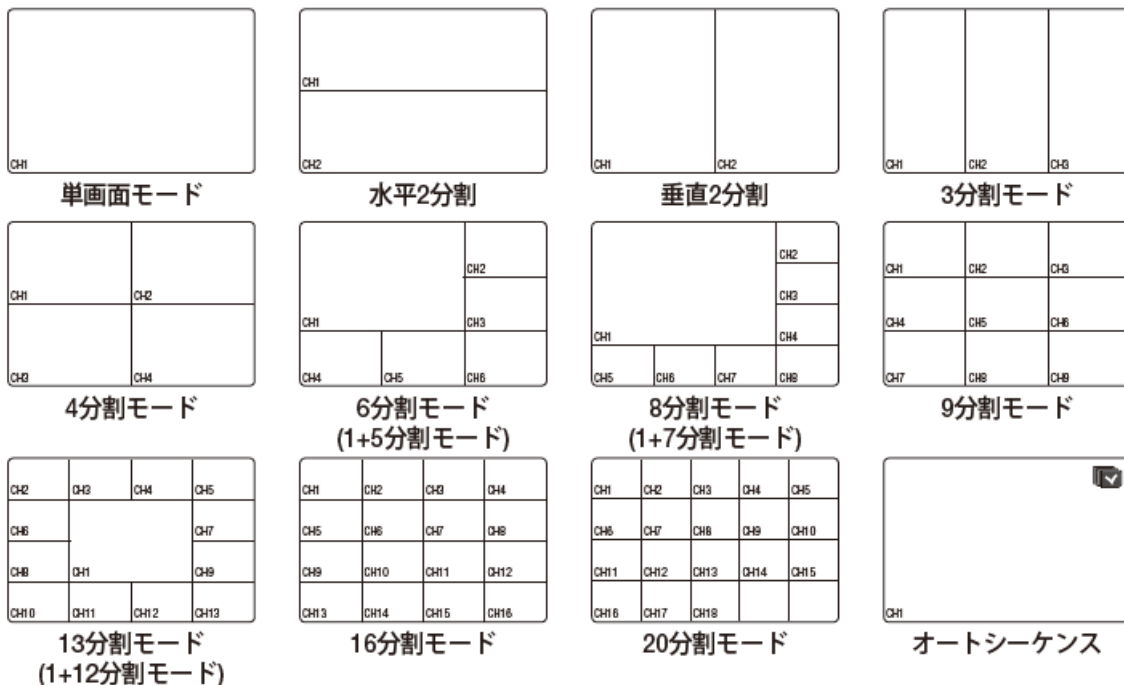
4CH : 6⇒4⇒3V⇒2V⇒2H⇒6(1+5)⇒6に戻る

8CH : 12⇒9⇒4⇒3V⇒2V⇒2H⇒6(1+5)⇒8(1+7)⇒12に戻る

16CH : 20⇒16⇒9⇒4⇒3V⇒2V⇒2H⇒6(1+5)⇒8(1+7)⇒13(1+12)⇒20に戻る

※リモートコントローラーの操作では、シーケンスモードには入りません。

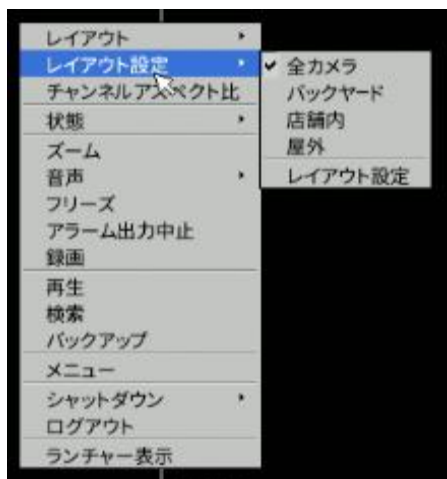
また、左右キー◀ ▶で、単画面のページ送りも動作しません。





## ■レイアウト画面

レイアウトの登録がされている場合、マウスの右クリックで開くメニュー画面の<レイアウト設定>で、レイアウトを切替えることができます。

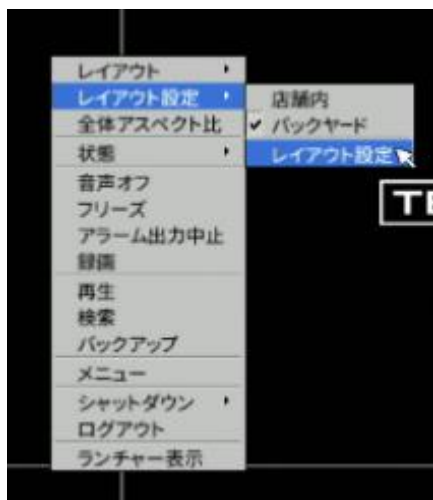


### 3) レイアウト設定

ライブ画面のレイアウトを設定することができます。

例えば、コンビニエンスストアなどでは 店舗内/バックヤード/屋外 のように見たいエリア毎にカメラをまとめることができます。

- ・ライブ画面でマウス右クリックでメニューを開き[レイアウト設定]⇒「レイアウト設定」選択します。



- ・レイアウト設定画面が開きます。

- ①：設定されたレイアウト名が表示されます。  
右端の▼ボタンで表示を切り替えることができます。
- ②：レイアウトを作成（新規）できます。
- ③：設定済みのレイアウトの名前を変更できます。
- ④：設定済みのレイアウトを削除できます。
- ⑤：レイアウトに含めるカメラを選択します。
- ⑥：カメラの一覧表示方法を変更します。  
[分割画面イメージ] ↔ [リスト]
- ⑦：レイアウトの分割画面モードを選択します。
- ⑧：設定を登録します。



#### 4) ランチャー

ライブ画面上でランチャーを表示することができます。

マウス右クリックで表示されるメニューで、表示／非表示の切り替えが可能です。

また、10秒間操作が無いと消えます。



メニュー		説明
1	レイアウト	画面に表示されるレイアウトを選択します。
2	レイアウト設定	各チャンネルの新しいレイアウトを設定、変更、削除できます。
3	画面モード	使用できる分割モードのリストを表示します。 現在の画面モードはグレー表示されます。
4	スライドを閉じる/ スライドを開く	クリックすると、非表示メニューが右側に表示されます。
5	手動バックアップ	バックアップデバイスを検索してチャンネル別に任意の時刻のデータをバックアップします。
6	拡大	選択した領域が拡大されます。これは、単画面でのみ使用可能です。
7	PTZモード	選択されたチャンネルに接続されたカメラでPTZ操作がサポートされている場合、PTZ制御ランチャーが起動されます。
8	アラーム停止	アラーム出力発生時、アラームを停止します。
9	フリーズ	ライブ画面を一時停止します。
10	キャプチャ	選択したチャンネルの画面をキャプチャーします。
11	テキストを印刷する	テキスト出力をON/OFFします。
12	再生	すでに再生中の検索ファイルがある場合はすぐ再生モードになり、再生中の検索ファイルがない場合は、録画検索モードになります。
13	手動録画	手動録画を開始したり停止することができます。